

想像の翼にのって— vol.11 国境を超えてつながる人々

大中華圏において社会現象となっているライブ動画配信サービス。将来の推定市場規模はゲーム市場と同等になると予測される、この業界を牽引するプラットフォーム「17 Media」。Facebook、Instagramよりも早く1000万DL（ダウンロード）を達成、8カ国のアプリランキングで1位、現在までに全世界で3000万DLを達成。先月号に引き続き、日本上陸を果たしたばかりのアジアナンバー1ライブメディア「17 Media」日本本社にて小野裕史社長と対談。

赤峰・ライブ動画配信サービスの出現が、エンターテインメント業界のあり方を変えようとしているというお話は共感します。最近、元SMAPのメンバーによるインターネット番組の進出とその反響の大きさが大きな話題となりました。日本のエンターテインメント業界、視聴者の中にも、時代の変化とそこにある新たな可能性に気づかれた方は多いと思います。

小野・10代、20代の方が、SNSを触っている時間は1日3時間以上と言われており、テレビ視聴者数が減る中、テレビタレントは仕事を失くしています。彼らは、間違いなく、テレビに近い、ライブメディアに出できます。台湾では既にライブメディアの人気は非常に高く、音楽番組やスポーツ番組もあります。

赤峰・既に「17 Media」からはライブパーと呼ばれる新たなスターたちも生まれていますね。

小野・台湾では、テレビタレント以上の人気と収入を得ているライブパー、ファッション誌「ELLE」のカバーを飾るライブパーも生まれ

『アジアNo.1ライブメディアの日本上陸(2)』

文 赤峰俊治 text by Shunji Akamine

ています。

赤峰・1950年から60年代に小型のトランジスタラジオが普及した際、3分間の軽快なポップスが流行り、プレスリーやビートルズといった新たなスターたちが生まれました。いつの時代もテクノロジーの進化とコンテンツの形態には密接な関係があります。ライブ動画配信はまさにスマホ時代に最適なコンテンツです。

小野・ライブ動画配信の市場規模は、ゲーム市場（日本では1兆3000億円）と同等か、それを超えると思っています。あくまで想定ですが、日本の有名なゲーム企業の時価総額と世界的に有名なライブ動画配信企業の時価総額が同程度であることがその理由です。

赤峰・「17 Media」は夢と可能性があるプラットフォームです。弊社はライブパーの発掘と育成、番組制作に力を注いでいきたいと思っています。

小野・御社のアジアという視点と事業展開は弊社の目指す方向性と重なる部分があり、共に業界を盛り上げてくれることを期待しています。



左：小野氏、右：赤峰氏

Profile

Arigato Japan Inc. CEO & Founder / Cool Japan TV Inc. CEO & Founder

1971年、大分県出身。

國學院大学卒業後、政府系金融機関の信用保証協会に入社。融資審査業務に携わる中で、企業にとって既存の商圏を越えることのできるインターネットメディアに可能性を感じて起業。オンライン動画を活用した行政や企業の情報発信プロデュースにおいて数々の実績を残す。もっとも面白いチャンネルを投票で決める「USTREAM大賞」を2年連続受賞。現在、52カ国に約7,000人の会員を持つ、オンライン動画スクールを運営。アジア最大のYouTuberネットワークを活用した、インバウンドプロモーション及びマーケティングを手掛ける。

<http://arigato-jp.com>

